

1/7～  
2/12

～子どもの声を聴く～

# 子どもアドボカシー養成講座

【実践・選択ユニット】 in 熊本 2022



## 「子どもアドボカシー」とは？

子どもから思いや願いを聴き、  
子ども自身がその思いや願いを言えるように助けたり、  
子どもに代わって言ったりすることを通じて、  
子どもの権利（基本的人権）を守るはたらきをいいます  
この講座では子どもアドボカシーを実践的に学びます

## 開催概要

- ◆ 対象：子どもアドボカシー基礎講座修了認定を受け、アドボケイトとして活動したい  
**熊本県在住の方**
- ◆ 定員：**20名**（定員に達した時点で締め切ります）
- ◆ 受講料：無料
- ◆ 実施方法：**Youtube動画視聴 + Zoomを利用したオンライン講座**
  - ① 前半：ライブでの講義、または事前に動画を視聴
  - ② 後半：グループワーク・討議のあと全体での質疑応答  
\*リフレクションのみ対面で開催します。  
(コロナの状況によってはオンラインに切り替えます)
- ◆ 申込方法：下記申込フォームよりお申し込みください（トナリビト公式HPからも可）
- ◆ 申込受付〆切：**12/15(木)**



## お申込み



申し込み  
フォーム

◀◀ 専用申込フォーム

またはNPO法人トナリビト公式HPからお申込みをお願いします

## 講師紹介

※敬称略



堀 正嗣  
熊本学園大学社会福祉学部教員  
子どもアドボカシー学会会長



栄留 里美  
大分大学福祉健康科学部講師  
子どもアドボカシー学会副会長

川瀬 信一 子どもの声からはじめよう代表理事。こども家庭庁設立準備室政策参与。  
里親家庭、児童養護施設、児童自立支援施設で生活。中学校教員。

定者 吉人 弁護士 山本真知子 大妻女子大学

鳥海 直美 四天王寺大学

藤林 武史 西日本こども研修センターあかしセンター長

谷口由希子 名古屋市立大学

- ◆ 共催：子どもアドボカシー学会
- ◆ 問い合わせ先：NPO法人トナリビト  
公式サイト <https://www.tonaribito.net/> メール [kumamoto.childadv@gmail.com](mailto:kumamoto.childadv@gmail.com)

熊本県子どもの権利擁護推進事業

## ◆ 開催スケジュール・講師

開催日	No.	時間	講座名	講師
1/7 (土)	0	13:30-13:50	オリエンテーション	堀 正嗣
	1	▶事前動画視聴 13:50~14:50	国・自治体で検討されているアドボケイトの役割	堀 正嗣
	2	15:00~17:00	社会的養護当事者・経験者がもとめるアドボカシー	川瀬 信一
1/14 (土)	3	▶事前動画視聴 10:00~11:00	社会的養護の子どもアドボカシーにかかわる法律・制度の理解	定者 吉人
	4	▶事前動画視聴 11:10~12:10	里親制度と子どもアドボカシー	山本真知子
	5	▶事前動画視聴 13:00~14:00	社会的養護を必要とする障害児のアドボカシー	鳥海 直美
	6	▶事前動画視聴 14:10~15:10	児童相談所がかかわる子どもアドボカシー	藤林 武史
1/28 (土)	7	▶事前動画視聴 10:00~11:00	児童福祉施設・里親養育の理解とアドボカシー	谷口由希子
	8	▶事前動画視聴 11:10~12:10	一時保護所の子どもたちとアドボカシー	栄留 里美
2/12(日)	9	15:00~17:00	リフレクション (まとめ)	堀 正嗣

## ◆ 開催にあたり ※必ずお読みください

- オンラインで開催します。3分の1以内であれば欠席の講座は動画視聴により受講できます。  
(最終日のリフレクションのみ対面予定です)  
※途中入室・退室、ながら受講(運転中・仕事中など)やグループワークで積極的な参加が見られない場合は、欠席扱いになる場合がございます。ご注意ください。
- 事前動画視聴の記載がある回は、事前に動画のURLをお送ります。
- 各回のレポートは、第2回のみ講座終了後に、それ以外は事前動画視聴後にご提出いただきます。
- 修了レポートは2月4日(土)までにご提出いただきます。

## ◆ テキストについて

各回ごとに資料があります。  
(資料の配布は講師の都合で講座の直前もしくは講座後になることがあります。)

## ◆ 修了認定

- すべての講座の受講が必要です。
- 3分の1以内の欠席であれば、休んだ時の講座をオンラインで録画受講できます。
- 毎回の講座終了後、受講レポート提出が必要です。
- すべての講座受講後、修了レポートの提出が必要です。
- 修了認定評価ポイント：①対象とする子どもの気持ちや思いを理解しているか、②対象とする子どもの置かれている状況とアドボカシーの必要性を理解しているか、③対象とする子どもとかかわる法律・制度・社会貢献を理解しているか、④出席状況(全ての講座への出席が必要です。動画視聴による補講を含む。)